

卒後 50 年記念同期会、5 組レポート！

インド、豊田市、岐阜市からも

折井正博（5 組）

同期会に 5 組からは 13 人が出席した。3 年前の 11 月に上田の「ささや」で開かれた同級会に 17 人が集まって以来の多数の出席である。出席者は在郷組（上田、青木在住）が富田篤、宮下勇一、田中利喜夫、手塚正、本田光芳、中沢忠繁。県外組が戸叶秀晴、森則雄（東京）、大沢秀敏（豊田市）、中曽根隆義（岐阜市）、伊藤高志（さいたま市）、田中裕子（インド）、筆者（折井、厚木市）（敬称略）。

全員とゆっくり話が出来た訳ではないが、退職し悠々自適の者もいれば、まだ現役で頑張っている者もいる。田中（利）はボランティアで上田城のガイドを勤めている。田中（裕）はインド在住だが今回は少しゆっくり日本に滞在する由。同期会お開き後は二次会へ。5 組は 8 人が、在郷組が常連らしい“1,2,3”というパブに移動する。驚いたことに店のママ以下女性陣は皆中国あるいは韓国の人。2 時間位そこで更に旧交を温め、カラオケで歌ったりしたがまだ宵の口。もう 1 軒行こうということになり、すぐそばの“ラベンダー”というパブへ。この店も先程と同様、中国、韓国の女性ばかり。ところで筆者は、前日に北欧から帰国したばかりだったので、時差ボケが酷く、深夜になりますます目が冴え元気潑刺。

ひたすら飲み続け相当に酔っ払い後半は記憶がいまひとつ定かではない。深夜まで付き合ってくれた在郷の手塚君他には感謝するのみ。

関東同期会は毎年開催されているが、5 組の出席率はいつもかなり低い。まあそれぞれ事情はあると思うが、ちょっと億劫でもいざ出席してみると結構楽しいものである。高校時代にあまり話すこともなかった者と、何十年ぶりに会ってみると、意外に話が合ったり、すっかり記憶の彼方にあったことが思い出されたりしていいものである。過去は振り返らず、前だけ見て生きるという主義の人も、たまには気分を変えてクラス会や同期会に出席してみるのもいいのではないだろうか。

（16 年 10 月 10 日 記）

【写真 1: 同期会で 5 組集合写真、後列左端が筆者】



【写真 2】 5 組の二次会の様子 その 1



【写真 3】5 組の二次会の様子 その 2



【写真 4: 5 組出席者の寄せ書き】

